

## シリア国節水灌漑農業普及計画技プロ（フェーズ II）

（実施期間：2008年12月～44ヵ月、担当業務：総括/灌漑、研修、普及、栽培など）

### 業務背景

シリア国の水事情は需要の急増によって逼迫しており、特に地下水利用の状況は深刻で地下水位の低下や井戸の枯渇に至る所で発生している。利水規制の強化も見通しが立たない中で、研修・普及活動を通じて節水灌漑を農家に広く波及させることが効果的であることが明らかとなってきた。また、節水灌漑普及を担当すべき農業農地改革省では、農家圃場レベルでの農業生産に適した乾燥地農業技術及び普及にかかる経験・知識の蓄積が不足しているとともに、普及活動を担う人材の育成・研修の分野で改善の余地が大きいことも明らかになってきた。本プロジェクトでは、ダマスカス郊外、ダラ、ハマ、アレppo、ラッカの5県を対象に、フェーズIで得られた近代的節水型灌漑の事業成果のさらなる拡大と深化を目指して2008年12月より開始された。

### 業務概要

本プロジェクトでは、節水灌漑は統制・規制で強制するよりも普及によって農民の意識や能力を高め、農民自身が自然に節水を選択するような推進方法を取る方が長期的に見て効果的且つ持続的であるという考え方に立脚することとした。そのため、農家への普及活動を通じて節水灌漑を推進し、普及活動を担う普及員育成のための研修活動、さらには普及に必要なノウハウや知識を整備する試験研究活動などを総合的に進めることを基本戦略とした。

### 担当事項

- 研修コースの実施による灌漑SMSおよび灌漑普及員の育成と研修評価システムの導入
- 様々な普及手法を用いたモデル普及活動の展開と普及活動の評価ならびに普及活動サイクルの定着
- プロジェクトサイトにおけるデモ圃場の整備とデモンストレーション活動の実施
- 節水灌漑技術を普及する上で重要な課題を解決するための圃場レベルでの試験研究活動の実施
- 各種マニュアル（灌漑技術、研修、普及）ならびに普及材料（ポスター、冊子、ツール）の作成
- カウンターパートへの技術移転の統括、プロジェクト管理、評価の実施及び全体統括



研修：作物要水量に関する普及員への研修活動



普及：圃場での灌漑水量測定に関する技術普及



デモ：デモ圃場における近代灌漑システムの説明



研究：試験場で研究者と共同で実施した流量試験